

デジタル・アーキビストの資格を得るために

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

1 デジタル・アーキビストとは？

最近、図書館・資料館・公文書館・博物館等で、その所蔵する貴重な資料を的確に整理保存し、それらを円滑に活用するようにするため、デジタル処理によるアーカイブ化が進んでいます。

企業などの事業体においても、その保有する資料をデジタル化することによって効果的に保存・活用するシステムが導入されつつあります。

このようなデジタル処理によるアーカイブ化を進めるためには、資料の持つ文化的価値の理解、著作権処理の知識などのほかに、コンピュータ技術に詳しい人材が求められます。

このような社会情勢を背景として、大学その他の学校においても、デジタル・アーカイブ化ができる人材の養成が進みつつあります。

このような社会情勢のもとで、非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構では、デジタル処理を的確に実践することができる能力を有する人材について、検定試験を実施して、デジタル・アーキビストの資格を付与することとしています。

2 資格は、次の4種類です

① 上級デジタル・アーキビスト（大学院レベル）

デジタル・アーキビストとしての能力を持つとともに、さらに文化情報の構成(データベースの記録項目も含め)、説明、カテゴリー、索引語(シソーラス)などのメタデータの基礎資料の作成及び計画から利用までの指導ができる高度な専門性を持つ人材

② デジタル・アーキビスト（大学学部レベル）

文化資料・活動の文化的な理解・評価ができ、記録、データベース構成、管理、流通などの計画、実施、情報活用を行うときの知的財産権(著作権を含め)、プライバシー、情報管理、索引語、情報メディア処理等について、入力からアプリケーションまで責任を持って処理できる専門性をもつ人材

③ 準デジタル・アーキビスト（短大、高校レベル）

博物館・図書館・市町村やメディア関連の商店・企業で、各種の情報、特にデジタル・アーカイブズの流通や利用に係る情報の記録・管理や必要な情報を取り出すことができ、知的財産権処理の能力をもって情報提供等に責任をもって対処できる人材

④ デジタルアーカイブ・コーディネーター（主に社会人）

地域の文化活動、サークルなどでの文化情報収集や文化創造活動において情報の記録、保存、流通を行うとき、情報活用、著作権、プライバシー等の基本的な知識をもち、文化情報の管理、流通に責任をもって担当できる人材

3 どのような内容の学習をすればいいでしょうか。

(1) 上級デジタル・アーキビスト

大学院レベルの学習を行った上で、日本デジタル・アーキビスト資格認定機構が行う試験に合格する必要があります。

大学院での標準カリキュラムは、次表のとおりです。

| 分野 | 科目 | 科目の内容 | 単位数 |
|------|--------------|--|--------------|
| 必修科目 | メディア論 | 文化的資料の特性をふまえた映像・音声・文字情報等の記録・管理・流通の研究 | 4単位 |
| | メディア特講 | | |
| | メディア演習 | 文化活動等の調査・評価とその記録・管理方法の実践的演習 | 2単位 |
| 必修科目 | デジタル・アーカイブ論 | 文化資料等のデジタル・アーカイブ化に伴う知的財産権等への対応 | 4単位 |
| | デジタル・アーカイブ特講 | | |
| | デジタル・アーカイブ演習 | 文化資料・情報の管理・流通の実践的演習 | 2単位 |
| 選択科目 | 文化学特講 | 文化の発展と創造に関する研究 | 選択科目として合計8単位 |
| | 言語学特講 | 語彙の体系、語形、語構成、意味、擬声語、擬態語等の研究 | |
| | 情報管理特講 | デジタル・アーカイブ化における情報カテゴリー、メタデータの作成・管理の研究 | |
| | 情報検索特講 | 文字データと画像データの構成、メタデータの特徴、検索機能等の実践的研究 | |
| | 教材開発特講その他 | 教育方法の多様化に伴うマルチメディア教材の内容構成、教材開発の変化等についての実際的研究 | |
| 合 | 計 | | 20単位 |

(注)1 大学院以外の養成機関は、この表に準じて科目を編成する。

(注)2 上記の表は、岐阜女子大学大学院のカリキュラム表です。

連絡先 岐阜市明德町10番地 杉山ビル4階

岐阜女子大学文化情報研究センター

電話 058-267-5238

URL <http://www.gijodai.ac.jp>

(2) デジタル・アーキビスト

① 養成施設で学習する場合

日本デジタル・アーキビスト資格認定機構がデジタル・アーキビストを養成する施設として認定した大学等(後述)で学習し、同機構が実施する試験に合格する方法標準的には、大学の単位として34単位の履修が必要です。

学習分野・内容及び必要単位数は、次表とおりです。

| 分野 科目 | 科目の内容 | 単位数 |
|---|------------------------------------|------------------|
| 必修科目 5分野11科目 各2単位 計 22単位 | | |
| 概論 デジタル・アーキビスト概論 | デジタル・アーキビストの学習内容、学習方法、仕事、活動、責任など | 2単位 |
| デジタル・アーカイブ開発 文化情報処理 | 文化情報のデータ処理の基本構成、文化情報の管理システムの構成 | 2単位 |
| マルチメディア | 映像、図形、文字、音声の記録と情報システムへの入力、管理及びその活用 | 2単位 |
| デジタル・アーカイブ | デジタル・アーカイブの作成計画・調査・記録・実施・デザイン策定 | 2単位 |
| 文化情報の管理 メディアと著作権 | 知的財産権、プライバシー等の理解と権利者への対応 | 2単位 |
| 文化情報管理と流通 | データベースの構築、情報検索システムの活用、セキュリティへの対処 | 2単位 |
| 文化情報システム | メタデータの表現、作成、入力 | 2単位 |
| 文化情報の利用 I 文化情報メディア | デジタル・アーカイブの活用によるプレゼンテーション | 2単位 |
| デジタル・アーキビスト実習 マルチメディア演習 | 各種メディアによる記録とデータベース化 | 2単位 |
| 情報記録検索演習 | 映像、図形、音声などの記録、情報管理、情報検索 | 2単位 |
| メタ情報処理演習 | | 2単位 |
| 選択科目 「文化に関する基礎」の分野計8単位 「文化情報の利用Ⅱ」の分野計4単位 | | |
| 文化に関する基礎 文化論分野 | 文化論、文化史、文化財、教育文化など | 各分野2単位以上 計8単位 |

| | | |
|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 文化専門分野 | 芸能、文学、書、観光文化、芸術、文化産業、映像文化、教育、生活など | |
| 文化活動分野 | 博物館、図書館、視聴覚教育、生涯学習、教育情報など | |
| 文化情報の利用Ⅱ デジタル・アーカイブ利用分野 | デジタル・アーカイブの社会一般の利用方法についての実践的学習 | 各分野 2 単位 計 4 単位 |
| 文化創造活用分野 | デジタル・アーカイブを利用した教材開発等についての実践的学習 | |

次に該当する人は、一部科目の履修を免除されます。

- 1 教員、学芸員及び図書館司書の資格を有する人は、選択科目 1 2 単位の履修が免除されます。
- 2 教員免許を有する人で、「視聴覚教育」の単位取得者は、「文化情報メディア」の履修が免除されます。
- 3 学芸員の資格を有する人で、「視聴覚メディア論」の単位取得者は、「文化情報メディア」の履修が免除されます。
- 4 大学で修得した科目が選択科目に該当するときは、その科目の履修が免除されます。

② 養成施設以外での学習

すでに実務経験があるなど、デジタル・アーキビストとしての能力があると自ら判断する人は、直接日本デジタル・アーキビスト資格認定機構が実施する試験に合格して資格を得ることができます。

また、講習(後述)を受講して試験を受けることもできます。

試験問題は、おおむね①に示した科目・学習内容が前提となります。

(3) 準デジタル・アーキビスト

準デジタル・アーキビストの資格を得るためには、短期大学や高等学校で学ぶ学習内容を中心として、日本デジタル・アーキビスト資格認定機構が実施する試験に合格する必要があります。

具体的な内容をあげると次のようなものです。

- 資料の記録・保存等に関する技術
- 資料の文化的価値についての理解
- データベース構築に関する能力
- 知的財産権、著作権、個人情報保護に関する知識と処理方法
- 作成したデータの流通や活用に関する技術・能力

(4) デジタルアーカイブ・コーディネーター

主に、地域社会でいろいろな文化活動が行われる際に、デジタル機器を活用して情報の記録・保存、流通を円滑に行うための基本的な知識・技術を持つ人材に対してこの資格を付与するものです。

4 試験及び講習日程

試験の日程は、次のとおりです。ただし、やむを得ない事情により変更することがあります。

(1) デジタル・アーキビスト

大学での所要単位取得者向け講習及び試験

講習 平成19年8月10日(金) 10:00~16:00

試験 平成19年8月11日(土) 13:00~16:00 (申込締切7月6日)

講習 平成20年2月23日(土) 10:00~16:00

試験 平成20年2月24日(日) 13:00~16:00 (申込締切1月18日)

受験料 10,000円

会場 デジタル・アーキビスト資格研究センター

(岐阜市明德町10番地 杉山ビル4階)

TEL 058-267-5237

URL <http://www.gijodai.ac.jp>

科目ごとの認定試験

(上記養成施設のカリキュラムのうち、概論を除く10科目)

平成19年11月23日(金・祝) 10:00~16:00 (申込締切10月19日)

平成19年11月24日(土) 10:00~16:00

受験料 1科目 5,000円

会場 東京会場 NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

(新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル4階)

TEL 03-5919-3403

URL http://www.gakujoken.jp/nintei_kikou/

実務経験者向け認定試験

大学卒業程度の学力があり、デジタル・アーカイブ関連の仕事に従事してきた人を対象に実施する試験

平成19年7月22日(日) 10:00~16:00 (申込締切6月22日)

受験料 10,000円

会場 東京会場 同上

岐阜会場 同上

(2) 準デジタル・アーキビスト講習及び認定試験

講習 平成19年8月25日(土) 10:00~16:00 同26日 10:00~15:00
試験 平成19年8月26日(日) 15:00~17:00 (申込締切8月3日)
講習 平成19年10月6日(土) 10:00~16:00 同7日 10:00~15:00
試験 平成19年10月7日(日) 15:00~17:00 (申込締切9月14日)
講習 平成20年2月10日(日) 10:00~16:00 同11日 10:00~15:00
試験 平成20年2月11日(祝) 15:00~17:00 (申込締切1月18日)
受講料 18,000円
受験料 5,000円
会場 岐阜会場 同上

(3) デジタルアーカイブ・コーディネーター講習及び試験

講習・試験 平成19年7月22日(日)10:00~16:00 同23日 10:00~15:00
講習・試験 平成19年10月6日(土)10:00~16:00 同7日 10:00~15:00
講習・試験 平成20年2月10日(日)10:00~16:00 同11日 10:00~15:00
受講料 15,000円
受験料 5,000円
会場 岐阜会場 同上

5 デジタル・アーキビスト養成認定施設
学校法人杉山女子学園 (岐阜女子大学)

岐阜市明德町10番地 杉山ビル4階
TEL 058-229-2211

特定非営利活動法人地域資料情報化コンソーシアム

岐阜市明德町10番地 杉山ビル5階
TEL 058-263-4155

常磐大学

水戸市見和1-430-1
TEL 029-232-2511

奈良産業大学

奈良県生駒郡三郷町立野北3-12-1
TEL 0745-73-7800

株式会社レ・サンク

静岡市葵区人宿町1丁目4番地の3
TEL 054-273-5500

6 参考図書

- ① デジタル・アーキビスト入門 日本文教出版 735円
- ② デジタル・アーキビスト概論 日本文教出版 1,890円